

中山 11 発走 15:35

Table with columns for race number (1-11), horse name, jockey, trainer, and various statistics. Includes a '馬券' (betting) section on the right.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics. Includes a '馬券' (betting) section on the right.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics. Includes a '馬券' (betting) section on the right.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics. Includes a '馬券' (betting) section on the right.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics. Includes a '馬券' (betting) section on the right.

本紙の見解 (Editorial) and 相本 (Horse) sections. Includes text about the race and horse analysis.



大川浩史

これだけ決まり

2戦目でクラス慣れ
 昔と違って「勝って同条件」がないので、4歳以上(3歳以上)の各クラスに長く在籍している馬は、そのクラスを長いこと勝てずにいる馬。したがって、500万~1600万では基本的に昇級緒戦の馬は買い。特に芝はクラスが上がるほどスローが多いので、ペースの違いがどうこうという心配もない。

編者の目

アメリカJCCには、
 ⑧ステラウインド 7歳
 ⑩ライストゥフェイム 8歳
 ⑩ルルージュ 8歳
 種牡馬ゼンノプロイ産駒が3頭並んだ(キンカメ産駒も、ディープ産駒も並んでいる)。
 ⑦ゼンノプロイは04年の秋に「天皇賞(秋)↓JCC↓有馬」。

秋の古馬3冠をすべて1番人気で完勝。有馬記念の2分29秒5は突出の大レコードだった。
 種牡馬入りした06年、いきなり21頭の交配数を記録し、その中にサンテミリオン(オークス)マダニフィカ(DD)、そして大物ベルーサがいたから評価は上がり、10、11年の交配数は254頭、207頭である。

ところが、ふつうの種牡馬やかつて(不発が多かった時代)の種牡馬ではない。天下の台合Sの、サンデーサイレンスの後継馬だから求められるものは高い。2年目の代表馬がルルージュで、3世代目がステラウインドでは、ゼンノプロイの評価は下がった。ここ3年の交配数は102、103頭減っている。

先週のアシカ杯をバウンスシャッセが圧勝したり、昨秋の菊花

オープンには能力の上限がないので、昇級緒戦では通用しにくい。特にダートのオープンには、芝のような「未勝利戦よりペースが遅い重賞」などありえないので厳しい。東海Sの出走馬12頭のうち、初めて3(4)歳以上のオープンに出走して勝ったのは1頭だけ。②着も1頭で、どちらもオープン特別だった。⑦モントクラッセは2番人気の前走みやこS⑦着だが、初のオープンが重賞。しかも楽勝の連続で3連勝していたのが祟り、厳しい流れの先行で止まった。オープン2戦目の今回は違う。

賞でリアファルが1番人気に支持されるなど③着、産駒の成績が良くないわけではない。15年の総合種牡馬ランキングはちやんと10位の9位である。

9歳ベルーサは2月の東京のダイヤモンドを目ざし、8歳ルルージュも戻ってきた。きょうは、中山4Rブレスクアイル、ルノンキュール、5Rキャプテンプロイなど、早いうちからチャンス大の馬がそろっている。

AJCCの3頭では、中山金杯を上がり32秒6で突っ込んだ6歳ライストゥフェイムには、今回こそ：の期待がかかる。

7歳ステラウインドは好調を保ち、17カ月ぶりの8歳馬ルルージュも決して悪くはない。別定のGIIとはいえず、GI級がいるわけではなく、人気の③ディサイアアとして7歳で33戦目。11スパーバームーンも7歳でここが27戦目。8歳ルルージュは、今回がやっとな20戦目である。

別にゼンノプロイ(16歳)に肩入れするわけではない。ステイゴールドだって最初はアルコセニョーラやマイネレツェルの父であり、ゴールドシップを送ったのは14歳時の種付け。種牡馬が本場の代表産駒を世に出すのは、断然、15歳前後の

ケースが多い。



小木曾大祐

発見の馬

先週日曜日の中山12R、芝2200Mは千M通過が60秒9と普通の流れですが、なぜかこの時点で7番手以降の馬は3秒以上後ろの位置に。中山金杯も非常に遅い流れ、競馬ですから文句はありません。ただ芝の中距離、特に脚質が固まっている古馬の競馬は、力関係より展開重視のようです。

①Rの狙いはヤマニンボワラクテ。久々を除いた2000M以上では「5533」と抜群の安定感。GI戦の後ではなく、先を睨んだ調整でもなく、今が旬の馬、先行力を活かす。3連復への粘り込みを狙います。

②Rはロジダリング。差し馬にとって、勝負どころで動きづらなのが少頭数の競馬。分かっていても逃げ切りです。

成績欄の馬場状態

ひと開催12回以内で「1中②」とあるのは、1回中山2日目の良馬場を示します。なお、稍重なら②、重馬場なら③、不良馬場なら④となります。

競馬人情吉良

東京に住む友だちがロワジャルダンの40分の1口馬主で、去年11月8日の京都でのみやこSのとき、「人気ないけど勝つよ」と自信ありげに京都へ出かけた行った。

勝って23・4倍の単勝馬券をしっかりと買っていった彼は、おれとふたりだけの祝勝会をした。ロワジャルダンでおどろいたのは、次の12月6日のチャンピオンズCで大外枠からの、ラスト3ハロン37秒1で粘ったの4着だ。

「おやじがキンカメで、母の父がサンデーサイレンス、母の母がスキーパラダイスだよ。とん

◆4歳馬の成績【AJCC】

19年マツリダゴッホ	①着
インテレット	②着
ジャリスコライト	③着
22年デルフォイ	④着
22年コスモファントム	⑤着
マルカポルト	⑥着
24年ナカヤマナイト	⑦着
トリーセンレーヴ	⑧着
26年フェイムゲーム	⑨着
レッドレイザン	⑩着
ケイアイチヨウサン	⑪着
27年シヨウナンラダイン	⑫着
27年シヨウナンラダイン	⑬着
27年シヨウナンラダイン	⑭着
27年シヨウナンラダイン	⑮着
27年シヨウナンラダイン	⑯着
27年シヨウナンラダイン	⑰着
27年シヨウナンラダイン	⑱着
27年シヨウナンラダイン	⑲着
27年シヨウナンラダイン	⑳着

※⑩人気以内のみ。(内は人気)

「レース展開」の馬番数字の中で「1...」などの白又キ数字で表したものは、その馬の「展開注目馬」ということです。



藤本貴久

「囃し」

中山12R レッドルモンド
 深夜番組で80年代不良映画が取り上げられた。「このシャバ僧が！」や「七夕野郎」などのフレーズ。相手と呼ぶときの独特な言い回し。おもしろかった。「脚質転換で上がり最速。今回は差し切る」

でもない血統だよ」
 と友だちは「GI4着祝い酒」で、また私に声をかけてきた。そんなわけで、アハハ、ごめんない、東海Sでロワジャルダンにしか目がいけない。

馬単⑤⑥⑤⑦⑧⑧
 アメリカJCCはマイネルフロストを応援する。おれにはと

きどき、2014年ダービーで心情馬券の、マイネルフロストの複勝を買い、3着だったときのびっくりとうれしさがよみがえってくるのだ。

配当は1220円だったけれど、あのうれしきは自分にはかわからない。そう思うと、なおさら大切な思い出になる。

馬単①③④⑥⑧⑨
 マイネルフロストもロワジャルダンも、おれの場合、心情馬券になっちゃうんだよ。